

令和8年産水稲採種ほ設置計画

R8.5.19

		コシヒカリ	キヌヒカリ	彩のかがやき	彩のきずな	えみほころ	さけ武蔵
令和6年産作付面積(推定)	ha	8,400	1,300	8,000	7,400	30	30
令和7年産作付面積(推定)	ha	8,700	1,300	6,100	8,700	100	30
生産振興方針における令和8年作付目標面積(予定)	ha	8,600	1,300	4,200	9,300	1,500	—
〃 令和9年 〃 (予定)	ha	8,600	1,200	2,800	9,700	2,800	—
令和7年播き用種子の需要量(R7.12.25現在)	kg	163,540	35,840	106,860	196,400	—	800
(参考:上記需要量見込みの面積換算)	ha	8,496	1,463	5,551	8,252	—	—
令和8年播き用種子の需要量(R7.12.25現在)	kg	168,500	37,060	75,780	222,000	47,940	800
(参考:上記需要量見込みの面積換算)	ha	8,753	1,513	3,937	9,328	1,370	—
① 令和9年播き用種子の需要量(見込み)	kg	164,000	35,600	62,100	225,600	98,000	800
(参考:上記需要量見込みの面積換算)	ha	8,519	1,453	2,957	9,766	2,800	—
② 繰越在庫量(見込み)	kg	6,500	2,100	3,860	16,480	14,440	—
③ 備蓄予定量 ※需要量の1割程度とする	kg	16,400	3,560	6,210	22,560	9,800	—
④ 必要確保数量(①-②+③)	kg	173,900	37,060	64,450	231,680	93,360	—
⑤ 県外産予約注文量	kg	93,100	21,880	0	0	0	—
⑥ 県内必要生産量(④-⑤)	kg	80,800	15,180	64,450	231,680	93,360	—
⑦ 令和8年産 必要採種ほ設置面積(⑥/基準単収/10)	ha	21.3	4.0	17.0	61.0	24.6	0.3
最終調整後の採種ほ設置面積	ha	20.6	4.0	16.8	61.1	22.7	0.3
参考:令和7年産 採種ほ面積	ha	21.0	2.8	16.0	58.9	20.3	0.3
比較増減	ha	-0.4	1.2	0.8	2.2	2.4	0.0

【積算根拠】

- ・ R8播き用種子の需要量：全農県本部米麦部からの情報より(予約+当用)。
- ・ R9播き用種子の需要量：予約分は県米麦改良協会の情報より。当用分は前年実績等を基に推定。
- ・ 面積換算は1ha=35kgとして算定。ただし品種ごとに歩留まりを考慮。
- ・ 繰越在庫量、県外産予約注文量は県米麦改良協会からの情報より。
- ・ 備蓄予定量は需要量の1割程度とした。
- ・ 採種ほの基準収量は380kg/10a。
- ・ 「えみほころ」については、原則として採種ほ設置に係る調整が整っている面積とする。
- ・ 意見照会後の採種ほ設置面積が必要採種ほ設置面積に満たない品種については、引き続き関係機関で連携して、採種面積や種子数量の確保にできるだけ努めるものとする。